

# LinkStationリファレンスガイド

本紙では、LinkStationの詳細な設定手順、制限事項を記載しています。「はじめにお読みください」に記載の手順で初期セットアップをした後にお読みください。LinkStationの操作にはNAS Navigator2を使用します。

## NAS Navigator2インストール手順

NAS Navigator2は、「はじめにお読みください」の記載の手順でセットアップしてればインストールされています。別途個別にインストールするときは下記の手順で行えます。  
Windows Vista/XP/2000：付属のユーティリティーCDからLinkNavigatorを起動→LinkNavigatorの[オプション]をクリック→[ソフトウェアの個別インストール]をクリック→[BUFFALO NAS Navigator2]を選択し、[インストール開始]をクリック。  
Mac OS X 10.3.9以降：付属のユーティリティーCDからLinkNavigatorを起動→LinkNavigatorの[NAS Navigatorのインストール]をクリック。

## NAS Navigator2起動手順

Windows Vista/XP/2000：[スタート]-[すべてのプログラム]-[BUFFALO]-[BUFFALO NAS Navigator]-[BUFFALO NAS Navigator2]をクリックします。  
Mac OS X 10.3.9以降：ユーティリティーCDでインストール時にコピーされたDock内の[NAS Navigator2]アイコンをクリックします。

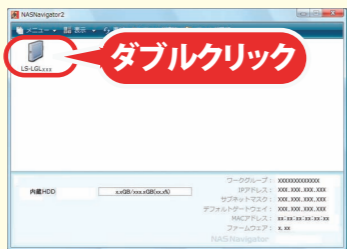
※本紙掲載されている画面はWindows Vistaの例です。

## LinkStationの共有フォルダーを開く

LinkStationの共有フォルダーを開きます。  
※共有フォルダーを開くには、NAS Navigator2で行うことをおすすめします。

- NAS Navigator2を起動します。
- LinkStationのアイコンをダブルクリックします。

LinkStationの共有フォルダーが開きます (Mac OSでは、デスクトップ画面にLinkStationのドライブアイコンとしてマウントされるか、Finderのサイドバーに表示されます)。他のハードディスクと同じようにお使いいただけます。



※共有フォルダがパスワードで保護されていた場合、パスワードの入力を求められます。パスワードは設定されているパスワードを入力してください。出荷時設定ではパスワード設定されていません(空欄のまま、[OK]をクリックしてください)。ユーザ名を入力されたときは、「admin」と入力してください(ユーザ名は変更できません)。  
※Mac OSをお使いの場合、[共有フォルダをパスワードで保護する]を選択していても、パスワードの入力が求められます。パスワードは設定されているパスワードを入力してください。出荷時設定ではパスワード設定されていません(空欄のまま、[OK]をクリックしてください)。  
※Mac OSでは、システムを再起動、終了するとアンマウントされます。もう一度マウントしたいときは上記の再度手順を行ってください。

## 時刻設定を行う

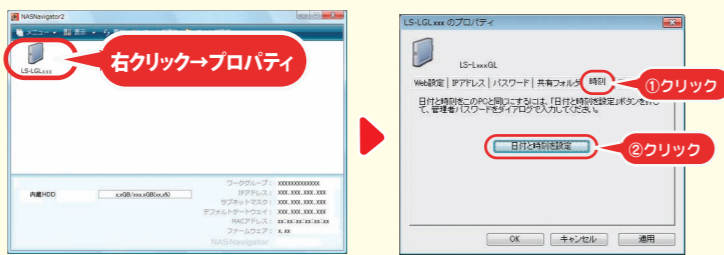
LinkStationの時刻設定を次の手順で行ってください。  
※時刻設定には、NAS Navigator2を使用します。

- NAS Navigator2を起動します。
- LinkStationのアイコンを右クリックし表示されたメニューから[プロパティ (MacOSでは機器設定画面を開く)]を選択します。
- [時刻] タブ→[日付と時刻を設定]の順にクリックします。

※画面に表示される[管理者パスワード]には、LinkStationに設定したパスワードを入力ください。出荷時設定では、パスワードは設定されていません(空欄のまま操作を続行してください)。

自動的にパソコンの時刻をLinkStationに設定します。

※インターネットにアクセス可能なネットワークにLinkStationを接続した場合、LinkStationがNTPサーバー (ntp.jst.mfeed.ad.jp)へアクセスし、自動的に時刻を合わせます。ネットワーク環境によっては、自動的に時刻が設定されないことがあります。このようなときは、NAS Navigator2から時刻を設定してください。



本製品はインターネットマルチフィード株式会社 (http://www.jst.mfeed.ad.jp/) が提供するNTPサーバーを利用します。本サービスの利用、停止、欠陥及びそれらが原因となり発生した損失や損害につきましては一切責任を負いません。

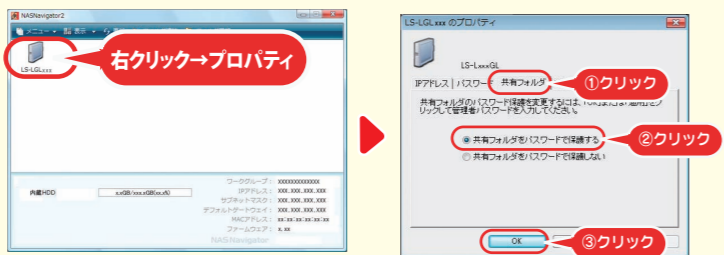
※Mac OSをお使いの場合、手順中の「右クリック」は、コントロールキーを押しながらクリックしてください。  
※パスワードを変更していた場合、管理者パスワードには変更したパスワードを入力してください。出荷時設定ではパスワード設定されていません(空欄のまま、[OK]をクリックしてください)。

## LinkStationの共有フォルダーをパスワードで保護する

LinkStationの共有フォルダーをパスワードで保護するときは、次の手順で行ってください。  
※パスワードの設定には、NAS Navigator2を使用します。

- NAS Navigator2を起動します。
- LinkStationのアイコンを右クリックし表示されたメニューから[プロパティ (MacOSでは機器設定画面を開く)]を選択します。
- [共有フォルダ] タブ→[共有フォルダをパスワードで保護する]→[OK] をクリックします。

※画面に表示される[管理者パスワード]には、LinkStationに設定したパスワードを入力ください。出荷時設定では、パスワードは設定されていません(空欄のまま操作を続行してください)。



以上で共有フォルダーはパスワードで保護されました。メニューの[共有フォルダをパスワードで保護する]の前にはチェックマークが表示されています。

### 万が一、パスワードを忘れてしまったら

本紙うら面「LinkStationの初期化方法」を参照して初期化を行ってください。出荷時設定(パスワードが設定されていない状態)に戻ります。

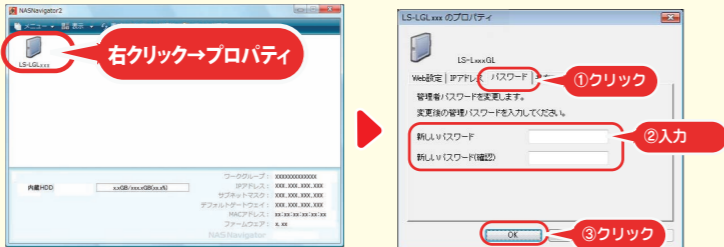
## パスワードを変更する

LinkStationのパスワードを変更するときは、次の手順で行ってください。  
※パスワードの変更には、NAS Navigator2を使用します。

- NAS Navigator2を起動します。
- LinkStationのアイコンを右クリックし表示されたメニューから[プロパティ (MacOSでは機器設定画面を開く)]を選択します。
- [パスワード] タブをクリックします。
- 新しいパスワード、新しいパスワード(確認)を入力し、[OK] をクリックします。

※画面に表示される[管理者パスワード]には、LinkStationに設定したパスワードを入力ください。出荷時設定では、パスワードは設定されていません(空欄のまま操作を続行してください)。

以上でパスワードの変更は完了です。



※半角英数字文字、-(ハイフン)、\_(アンダーバー)を、Windowsでは20文字、Mac OSでは14文字まで使用できます。先頭文字に記号(アンダーバー除く)を使用することはできません。

## ディスクチェックを行う

LinkStationをディスクチェックするときは、次の手順で行ってください。  
※ディスクチェックには、NAS Navigator2を使用します。

- NAS Navigator2を起動します。
- LinkStationのアイコンを右クリックし表示されたメニューから[プロパティ (MacOSでは機器設定画面を開く)]を選択します。
- [ディスク] タブ→[ディスクチェック]の順にをクリックします。

※画面に表示される[管理者パスワード]には、LinkStationに設定したパスワードを入力ください。出荷時設定では、パスワードは設定されていません(空欄のまま操作を続行してください)。

## フォーマットを実行する

LinkStationをフォーマットするときは、次の手順で行ってください。  
※フォーマットには、NAS Navigator2を使用します。

- NAS Navigator2を起動します。
- LinkStationのアイコンを右クリックし表示されたメニューから[プロパティ (MacOSでは機器設定画面を開く)]を選択します。
- [ディスク] タブ→[フォーマット]の順にをクリックします。

※画面に表示される[管理者パスワード]には、LinkStationに設定したパスワードを入力ください。出荷時設定では、パスワードは設定されていません(空欄のまま操作を続行してください)。

## IPアドレスを変更する

LinkStationのIPアドレスを変更するときは、次の手順で行ってください。  
※IPアドレスの変更には、NAS Navigator2を使用します。

- NAS Navigator2を起動します。
- LinkStationのアイコンを右クリックし表示されたメニューから[プロパティ (MacOSでは機器設定画面を開く)]を選択します。
- [IPアドレス] タブをクリックします。

※画面に表示される[管理者パスワード]には、LinkStationに設定したパスワードを入力ください。出荷時設定では、パスワードは設定されていません(空欄のまま操作を続行してください)。

## ネットワークドライブに割り当てる(Windows)

LinkStationの共有フォルダをネットワークドライブとして割り当てます。  
※ネットワークドライブの割り当ては、NAS Navigator2で行うことができます。

- NAS Navigator2を起動します。
- LinkStationのアイコンを右クリックし表示されたメニューから[ネットワークドライブの割り当て]をクリックします。

※[全Link/TeraStationの割り当て]をクリックすると、NAS Navigator2で検索できたLinkStation/TeraStationを全てネットワークドライブに割り当てます (Windows Vista/XP/2000)。  
※LinkNavigatorを使ってもネットワークドライブを割り当てることができます。詳しくは、「はじめにお読みください」うら面「2台目以降のパソコンで使用の方へ」をご参照ください (Windows Vista/XP/2000)。

## NAS Navigator2メニュー

NAS Navigator2の画面、メニューについては、次のとおりです。

LinkStationのアイコンをクリックすると選択したLinkStationの全容量、使用容量、IPアドレス、ワークグループ、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、MACアドレス、ファームウェアバージョン、が表示されます。



WindowsでのNAS Navigator2メイン画面

Windows メニューの説明 (WindowsでのNAS Navigator2メニューです。タスクバーの アイコンを右クリックしても同様の操作ができます。)

メニュー	ネットワークドライブの割り当て(※)	検索されたLinkStation共有フォルダーをネットワークドライブに割り当てます。
	ネットワークドライブの切断(※)	ネットワークドライブの割り当てを解除します。
常に常駐する	すべてのLinkStationのドライブの割り当て	検索された全てのLinkStation共有フォルダーをネットワークドライブに割り当てます。
	LinkStationのショートカットの作成(※)	検索されたLinkStationの共有フォルダー (share) へのショートカットアイコンをデスクトップに作成します。
プロパティ(※)	OS起動時にNAS Navigator2をタスクトレイに常駐させます。	
	閉じる	選択したLinkStationのプロパティ画面を開きます。
表示	表示	NAS Navigator2の操作画面を閉じます。
	並び替え順序	[アイコン]：アイコンで簡単に表示します。 IPアドレス、ホスト名、製品名、ワークグループ、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ
開く(※)		表示されたLinkStationの共有フォルダーを開きます。
更新		LinkStationを再検索します。
フォルダ連絡		LinkStationの共有フォルダーとパソコンのローカルドライブにあるフォルダを連結して表示するための設定を行います。
フォルダ同期		LinkStationの共有フォルダーとパソコンのローカルドライブにあるフォルダを同期して表示するための設定を行います。

※NAS Navigator2画面での操作の場合、LinkStationのアイコンをクリックしないと表示されません。

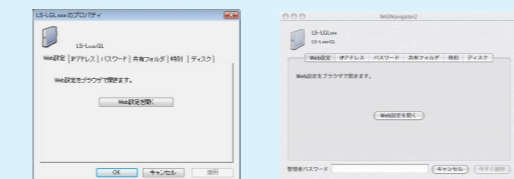


Mac OSでのNAS Navigator2メイン画面

Mac OS メニューの説明 (Mac OSでのNAS Navigator2メニューです。)

LinkStationのアイコンの右クリックメニュー	開く	LinkStationの共有フォルダーを開きます。
	更新	LinkStationを再検索します。
共有フォルダを開く	共有フォルダを開く	LinkStationの共有フォルダーを開きます。
	Web設定を開く	選択したLinkStationの設定画面を表示します。
	機器設定画面を開く	LinkStationの設定画面を表示します。
	カラーラベル	アイコンの下に表示される名称の色を選択できます。
表示オプションを表示	アイコンサイズ、ラベルの位置、アイコンの並べる順序を設定できます。	

上記メニューから[プロパティ (または機器設定画面を開く)]をクリックすると、LinkStationのプロパティ画面 (または機器設定画面) が表示されます。プロパティ画面 (または機器設定画面) では、次の操作ができます。



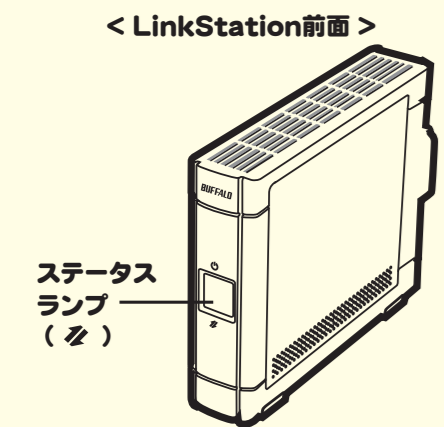
Windowsでの画面例 Mac OSでの画面例

Web設定	[Web設定を開く]をクリックすると選択したWebアクセス機能の設定画面を表示します。
IPアドレス	[IPアドレスを自動的に取得する]を選択するとDHCPサーバのある環境では自動的にIPアドレスを取得します。手動でIPアドレス等を設定することもできます。
パスワード	LinkStationの共有フォルダーに設定したパスワードを変更します。
共有フォルダ	共有フォルダーをパスワードで保護する/しないを選択します。
時刻	[日付と時刻を設定]をクリックすると、LinkStationの時刻をパソコンの時計の時刻と同じにします。
ディスク	[ディスクチェック]をクリックするとLinkStation内蔵のハードディスクをディスクチェックします。 [フォーマット]をクリックするとLinkStation内蔵のハードディスクをフォーマットします。

NAS Navigator2のエラーメッセージ一覧 NAS Navigator2でLinkStationを検索すると、自動的にLinkStationに異常がないかチェックしています。異常があったときには以下のメッセージが表示されます。

ファンの回転数が異常があります。	ファンの回転が低い、または停止しています。風通しの良い涼しい場所、ファンを塞ぐような物がない場所に設置場所を変えてください。ステータスランプが赤色に点灯しているときは、弊社修理センターに修理をご依頼ください。
ディスクの不良セクタ数が危険な範囲に達しました。基板が故障しています。	不良セクタが多いため、正常に動作しない恐れがあります。ステータスランプが橙色に点灯しているときは、弊社修理センターに修理をご依頼ください。RTCチップまたはPHYチップと通信が不可能。弊社修理センターに修理をご依頼ください。
ディスクのマウントに失敗しました。	マウントエラーです。弊社修理センターに修理をご依頼ください。

## ステータスランプの表示 LinkStation前面にあるステータスランプで、LinkStationの状態を知ることができます。



ステータスランプは通常、ネットワークに接続されているときに、緑色に点灯します。

●橙色にステータスランプが表示されているときは  
LinkStationでフォーマットやディスクチェックなどの作業中のときは、ステータスランプが橙色に点滅します。点滅する間隔によって、表示の意味が異なります。

インフォメーションコードの周期 (ステータスランプの橙色点灯)

消灯 1秒	インフォメーションコード10の位 (1秒点灯→0.3秒消灯) × n回	インフォメーションコード1の位 (0.5秒点灯→0.3秒消灯) × n回	消灯 1秒	以降繰り返し	...
----------	--	---	----------	--------	-----

ステータスランプの橙色点滅の意味 (インフォメーションコード一覧)

インフォメーションコード	内容
I20	LinkStationの内蔵ハードディスクフォーマット中
I21	LinkStationの内蔵ハードディスク ディスクチェック中
I23	LinkStationのSYSTEM初期化中
I25	LinkStationのファームウェアアップデート中

●赤色にステータスランプが表示されているときは  
LinkStationにエラーが発生したとき、ステータスランプが赤色に点滅します。点滅する間隔によって、表示の意味が異なります。

エラーコードの周期 (ステータスランプの赤色点灯)

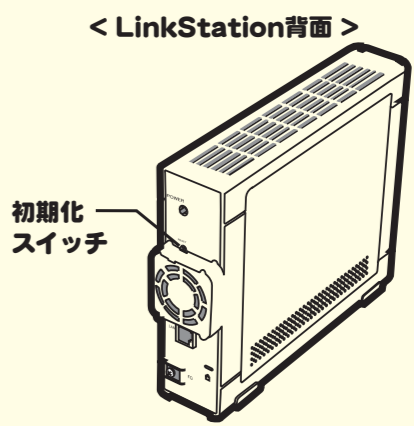
消灯 1秒	エラーコード10の位 (1秒点灯→0.3秒消灯) × n回	エラーコード1の位 (0.5秒点灯→0.3秒消灯) × n回	消灯 1秒	以降繰り返し	...
----------	----------------------------------	-----------------------------------	----------	--------	-----

ステータスランプの赤色点滅の意味 (エラーコード一覧)

エラーコード	内容
E00	MPU異常です。弊社修理センターに修理をご依頼ください。E00では、ステータスランプが全く点灯しません。
E01	DRAM DATA LINE異常です。弊社修理センターに修理をご依頼ください。
E02	DRAM ADDRESS LINEが異常です。弊社修理センターに修理をご依頼ください。
E03	RTC CHIP異常です。弊社修理センターに修理をご依頼ください。
E04	カーネルの展開に失敗しています。弊社修理センターに修理をご依頼ください。
E11	ファンエラーです。弊社修理センターに修理をご依頼ください。
E15	Diskエラーです。弊社修理センターに修理をご依頼ください。
E17	RTCチップと通信が不可能です。弊社修理センターに修理をご依頼ください。
E21	Phyチップと通信が不可能です。弊社修理センターに修理をご依頼ください。
E22	マウントエラーです。弊社修理センターに修理をご依頼ください。

## LinkStationの初期化方法

LinkStation動作時(電源ランプ点灯)に、ボールペンの先などで5秒間押し続けると、本製品の設定内容(IPアドレス、管理者パスワード)が出荷時設定に変更されます。



## 制限事項

●全角文字(日本語など)のフォルダーやファイル名を作成するときは、80文字以内にしてください。80文字を越える名前のフォルダーやファイルは、コピー操作ができないことがあります。

●LinkStationのフォルダーやファイルに属性(隠し/読取専用)を設定することはできません。

●ファイル名に次の文字を使用すると、LinkStationのデータにアクセスできない、ファイル操作が正常行えないことがあります。そのようなときは他の文字をお使いください。

~ \| - < > : ; \* ? [ \ ] ^ \_ ` { } | ~ \| - < > : ; \* ? [ \ ] ^ \_ ` { } |  
①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲  
I II III IV V VI VII VIII IX X i iii iv v vi vii viii ix x mmmkmmkgccmriNo.KK.Ta.ⓁⓂⓃ  
ⓄⓅⓆⓇⓈⓉⓊⓋⓌⓍⓎⓏⓐⓑⓓⓔⓕⓖⓗⓘⓙⓚⓛⓜⓝⓞⓟⓠⓡⓢⓣⓤⓥⓦⓧⓨⓩ⓪⓫⓬⓭⓮⓯⓰⓱⓲⓳⓴⓵⓶⓷⓸⓹⓺⓻⓼⓽⓾⓿  
ⓀⓁⓂⓃⓄⓅⓆⓇⓈⓉⓊⓋⓌⓍⓎⓏⓐⓑⓓⓔⓕⓖⓗⓘⓙⓚⓛⓜⓝⓞⓟⓠⓡⓢⓣⓤⓥⓦⓧⓨⓩ⓪⓫⓬⓭⓮⓯⓰⓱⓲⓳⓴⓵⓶⓷⓸⓹⓺⓻⓼⓽⓾⓿  
ⓀⓁⓂⓃⓄⓅⓆⓇⓈⓉⓊⓋⓌⓍⓎⓏⓐⓑⓓⓔⓕⓖⓗⓘⓙⓚⓛⓜⓝⓞⓟⓠⓡⓢⓣⓤⓥⓦⓧⓨⓩ⓪⓫⓬⓭⓮⓯⓰⓱⓲⓳⓴⓵⓶⓷⓸⓹⓺⓻⓼⓽⓾⓿

●LinkStationへのファイルコピーは、ジャーナリングファイルシステムにより保護されますが、コピー中にキャンセルしたり、コピーを途中で終了(LANケーブルが抜けた、停電など)すると、不完全なファイルがコピーされ、ファイルが削除できなくなることがあります。その場合は、LinkStationを再起動してからファイルを削除し、コピー操作をもう一度行ってください。

## NAS Navigator2のフォルダー同期機能を使う(Windows)

＜フォルダー同期機能とは＞  
フォルダー同期機能を使用すると、LinkStationの共有フォルダーとパソコンのローカルフォルダーを同期させ、自動的にローカルフォルダーのファイルをLinkStationにアップロードします。

### ＜フォルダー同期設定手順＞

1. NAS Navigator2を起動します。
2. [フォルダ同期] をクリックします。
3. [追加] をクリックします。
4. [同期元] の右端にあるボタンをクリックします。
5. ①同期元にするパソコンのローカルドライブ内のフォルダーを選択します。  
② [OK] をクリックします。
6. [同期先] の右端にあるボタンをクリックします。
7. ①同期先にするLinkStation内のフォルダーを選択します。  
② [OK] をクリックします。
8. [OK] をクリックします。
9. [OK] をクリックします。

以上でフォルダー同期機能の設定は完了です。

### ＜フォルダー同期機能での制限事項＞

- ・フォルダー連結と同じ設定をフォルダー同期に設定することはできません。
- ・フォルダー同期を設定できる数は最大10個です。
- ・1つの同期先フォルダーに複数同期元フォルダーを指定することはできません。
- ・1つの同期元フォルダーに複数同期先フォルダーを指定することはできません。
- ・フォルダー同期機能は、同期元フォルダーへのファイル・フォルダー作成、書き込みを監視し、同じ操作を同期先フォルダーに対して行います。同期先フォルダー内のファイルは別途更新しても、同期元フォルダー内の同名ファイルを更新した時点で、同期先フォルダー内のファイルは同期元フォルダー内のファイルと同じ内容となります。同期元でのファイル操作が同期先に反映されます。
- ・同期先のフォルダー (LinkStation上の共有フォルダー) を複数のネットワークユーザーが読み書きする場合の排他処理はネットワーク上の共有フォルダーを読み書きする場合と同一となります。同期先のフォルダーには共有フォルダーとして動作します。
- ・アクセス制限されたネットワークフォルダーの認証はユーザーの接続開始時またはシステム起動時にのみ行われます。認証に失敗した場合は、次回ユーザーの接続時またはシステム起動時でない限り再度ネットワーク接続認証は行われません。Explorerからのアクセスとは違いフォルダーにアクセスする時に認証が行われるわけではありません。
- ・複数のユーザーが同一のネットワークフォルダーを同期先として設定していた場合はファイル名の重複などが発生する可能性があるため、動作を保証できません。
- ・複数のネットワークユーザーが同一のネットワークフォルダーを同期先として設定していた場合、ファイル名の重複などが発生する可能性があるため、動作を保証できません。
- ・同期先フォルダーは個別のユーザーしか書き込みアクセスできないような設定を行っておくことをおすすめします。

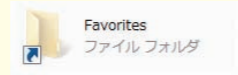
## NAS Navigator2のフォルダー連結機能を使う(Windows)

＜フォルダー連結機能とは＞  
フォルダー連結機能を使用すると、LinkStationの共有フォルダーへのショートカットをデスクトップやマイドキュメント内のローカルフォルダーに設定することができます。

### ＜フォルダー同期設定手順＞

1. NAS Navigator2を起動します。
2. [フォルダ連結] をクリックします。
3. [追加] をクリックします。
4. [連結元] の右端にあるボタンをクリックします。
5. ①連結元にするパソコンのローカルドライブ内のフォルダーを選択します。  
② [OK] をクリックします。
6. [連結先] の右端にあるボタンをクリックします。
7. ①連結先にするLinkStation内のフォルダーを選択します。  
② [OK] をクリックします。
8. [OK] をクリックします。
9. [OK] をクリックします。

以上でフォルダー連結機能の設定は完了です。  
Windows Vistaではフォルダー連結したフォルダーは下図のように矢印が表示されます。解除した場合、矢印は消えます。



### ＜フォルダー連結機能での制限事項＞

- ・フォルダー連結設定できる数は最大10個です。
- ・1つの連結先フォルダーに複数連結元フォルダーを指定することはできません。
- ・1つの連結元フォルダーに複数連結先フォルダーを指定することはできません。
- ・フォルダー連結設定を行ったユーザーとは別のアカウントでWindowsにログインすると、フォルダー連結設定は無効になりますが、連結元フォルダーは別アカウントのユーザーからも見えます。別アカウントのユーザーから見えないようにしたいときは、アカウント名固有のフォルダー(マイドキュメントなど)を連結先に設定することをおすすめします。
- ・アクセス制限されたフォルダーへのフォルダー連結機能はサポートしておりません。
- ・複数ユーザーが同一のネットワークフォルダーを連結先として設定していた場合、複数ユーザーからの読み書きはネットワーク上の共有フォルダーを読み書きする場合と同一となります。連結先のフォルダーは共有フォルダーとして動作します(他ユーザーが書き込んだものも連結元から見えます)。

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部または全部を弊社に無断で転載、複製、改変などを行うことは禁じられております。
- BUFFALO™は、株式会社メルコホールディングスの商標です。LinkStation™、TeraStation™は、株式会社バッファローの商標です。本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。本書では、™、®、©などのマークは記載していません。
- 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。
- 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。
- 本製品は一般的なオフィスや家庭のOA機器としてお使いください。万一、一般OA機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。
- ・一般OA機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。
- 本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。
- 本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等(または役務)に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可(または役務取引許可)が必要です。
- 本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。
- 弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データが消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。
- 本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。